

先月のネイチャーウォーク

～ 東京裁く ～

(ねむの木の庭・池田山公園～自然教育園)



歩いていける、この東京砂漠

2ヶ月ぶりとなった今回のネイチャーウォークは、東京砂漠に点在する「ねむの木の庭」、「池田山公園」、「自然教育園」の3つの緑のオアシスを訪ねました。

当日は台風一過で、東京砂漠の名に恥じない暑さでしたが、秩父と品川から初参加の方4名を含めた、34名もの参加者に恵まれました。

さあ、今回はどんな発見があるのでしょうか。

最初の1時間は、蒸し暑かった...

閑静な住宅街の砂丘を越えていくと、見つけました、本日最初のオアシス「ねむの木の庭」。

2004年、旧正田邸跡地に開園されたまだ若くて小さい公園ですが、そのポテンシャルは計り知れません。次来的时候はさらに成長しているのでしょう。



次はプリンセスミチコが咲く時期に来たい!



スタイリッシュな外壁

ここの管理人さんがネイチャーウォークのパンフレットを見て、「よくできてるねー」ホメてくれました。参加者のみなさまとスタッフの合作と自負しております。

ついでに EcoSaitama の宣伝もちょっとだけ。

オアシスで出会いがありました。



お～～！！涼しい！！・・・感じがする

そして、次なるオアシスは「池田山公園」。東京砂漠の暑い暑い道のりだっただけに、この緑がより輝いて感じられました。まさに緑の泉。



バグバク！！餌求む



あーカサメ焼きだ！！キノコです



そういうものに私はなりたい。

宮沢賢治の言葉の脇を通り過ぎて次ぎのオアシスへ。
残暑の暑さにも負けない、そういうものに私はなりたい。

次は大本命の自然教育園、その歴史は 400～500 年前から始まったそうです。一般の人々には中に入らなかった、それ故に人があまり入らず昔の面影が見られる林となっています。



父と娘夫婦の仲よし3ショット

でもちょっとその前に・・・ピーす



今月は1人の方が認定書を授与されました。
もちろん恒例の超豪華粗品付きです
おめでとうございます。そしてこれからもネ
イチャーウォークをよろしくお願いします。

「林に人の手を一切入れないのも自然保護の
1つの考え方。」そうおっしゃるのは自然教育園
の研究者の1人である矢野先生。園内を案内・
解説していただきました。

どんぐりの笛、ジョロウグモやムクロジの話、
ネイチャーウォーカーとしては是非とも知って
おきたいお話が数々ありました。

また、先生の話し方がとても上手い！個人的
に通いたくなってしまう。



皆さん、さっそく何か見つけたようです



科学的な話も面白く、熱い視線が注がれていました

こんな素敵な公園でも地球温暖化など環境問題の影響が動植
物の分布変化など目に見える形で現れだしてしまいました。今私たち
にできることは何でしょうか。うーん、考えさせられました。



さあ、ヤツデの名前の由来は？



解散後も、皆さんめいめい心ゆくまで公園内を散策されたよう
です。

入場制限など生きものと人のための公園、埼玉にももっと増え
るといいですね。

バグバク！！餌求む その2（クサガメ）スッポン君もいました。

自然を愛し、すべてに感動する。そういう心でありたいものです（どこかで聞いたような・・・）。

お疲れ様でした。